



- 2面 【学会の目・眼・芽】「名勝」に学ぶ風景のみかた
 (社)日本造園学会理事 奈良県立大学地域創造学部教授 井原 縁
 総支部長・支部長合同会議を開催 令和4年度事業の実施状況などを説明
- 3面 第14回 造園技術フォーラム 熊本で6つの発表、特別講演など行う
- 4面 【ふるさと自慢】市の花は“バラ” ばら園と周辺の見どころと食べ物
 群馬県支部 谷口 明日香、井田 七海 (紅陵造園株)
 【緑滴】私とお茶との出会い
 鳥取県支部 塚谷 照子 (山陰緑化建設株)

お陰様で（一社）日本造園建設業協会は2021年11月に創立50周年を迎えました。祝賀会は2023年に実施予定です。

第1回 通常理事会を開催 総会招集など5議案を審議・承認



理事会の冒頭、あいさつする和田新也会長

日造協は5月27日、東京都千代田区の都市計画協会会議室で、総支部長等会議および令和4年度第1回通常理事会を開催し、令和3年度年度事業報告及び決算、2022、2023年度総支部長及び支部長（2面に一覧）など5議案を審議・承認した。

通常理事会は、冒頭、和田会長が、「皆様には、大変お忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大も未だ終息せず、燃料、資材等の値上がりなど、今後の経済社会への影響が懸念されるところです。そのような中、担い手の確保・育成に向け、建設キャリアアップシステムへの対応、墜落制止用器具等の労働安全衛生対策の強化、時間外労働規制の建設業界への適用の他、2027年横浜で開催される国際園芸博覧会への協力などにも適切に取り組んでいく必要があります。本日は、令和3年度の事業報告及び決算、役員の選任（案）等につきまして、ご審議をいただきこととしております。ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。」とあいさつをした。

その後①令和3年度事業報告及び決算②令和4年度通常総会の招集③総支部長及び支部長の承認④会員の入会⑤理事会同意事項の委任、の5議案を審議・承認した。

【お知らせ】

令和4年度通常総会

日時：6月21日(火)14:00～
 場所：ホテルグランドアーク半蔵門
 東京都千代田区隼町1-1
 ☎ 03-3288-0111

会員の皆様のご参加をお願いいたします。

※なお、「意見交換会」は中止します。
 創立50周年祝賀会は2023年に実施予定です。

令和4年度 全国安全週間のお知らせ

本週間 7月1日～7日 準備期間 6月1日～30日

令和4年度全国安全週間は、7月1日から7日を本週間、6月1日から30日の1ヶ月を準備期間とし「安全は急がず焦らず怠らず」をスローガンに掲げ、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間とされています。

全国安全週間は、厚生労働省、中央労働災害防止協会が主唱し、昭和3年に初めて実施されました。以来「人命尊重」という基本理念のもと「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で95回目を迎えた。

事業場では、労使が協調して労働災害

樹林

(一社)日本造園建設業協会理事
 木上梅香園(株) 代表取締役会長 木上 正貢



大盛況でした！！

第38回全国都市緑化フェア（くまもと花とみどりの博覧会）が5月22日閉幕しました。36年ぶり2回目となる今回はメイン会場を、街なかエリアは熊本城公園及び花畠広場一帯、水辺エリアは水前寺江津湖公園一帯、まち山エリアは市街地にもほど近い自然豊かな里山である立田山と熊本市に三つ設けました。

街なかエリアには花畠広場にモダンな大花壇、水辺エリアには熊本市動植物園にダイナミックな大花壇、まち山（立田山）エリアには木製遊具、そして熊本県内全ての市町村のパートナー会場「オールくまもと」のあちこちでも花と緑を堪能してもらおうと趣向を凝らしました。ゴールデンウイーク期間中だけでも来訪者30万人超という大盛況ぶりで、エリア毎の多彩なイベントや「オールくまもと」によるおもてなしを功を奏したようです。

また恒例の庭園コンテストには「こどもたちの笑顔」と題して、初めて熊本県内の農業高校も出展し独創性のある豊かな発想を披露してもらいました。大花壇は世界水サミットに合せて植え替えをし、開幕とフィナーレには20mにも及ぶ「花のトンネル」を登場させました。

期間を通してさまざまなイベントがあり、全年齢の来訪者に楽しんでいただいたと自負しております。

緑化による環境整備は大事とわかっていても、倒木や落ち葉などのマイナス面ばかりが取り上げられる昨今の情勢に我々造園業者も心を痛めておりま

したが、この「くまもと花とみどりの博覧会」で一般の皆様が花と緑っていい感じを持つてくれただけでも良かったと思っています。

「くまもと花博のおかげで花や緑が改めて身近で大事に思うようになった」という話も聞きました。

新型コロナウイルス禍ではありましたが期待を大きく上回る来訪者の方々に、ここから自分たちも自然に触れ緑を増やしたいという思いを我々が行動に繋げるお手伝いができれば、なお素晴らしい成果と言えるでしょう。

多くの市民の皆さんから閉幕を惜しむ声が寄せられたそうで、大西熊本市長から「来年も、再来年も規模は小さくはなるが、議会等の賛同が得られれば事業化も含めて考えていきたいし、一過性のイベントとして終わらせたくないでの、街中の緑化に加え、会場となった立田山や江津湖の環境を守る活動を市民や民間企業などが参加する形で継続をさせたい」とのお言葉もいただきました。

この緑化フェアは熊本地震や豪雨などの自然災害からの復興を知っていたら絶好の機会になりました。多くの企業がスポンサーとして名乗りを上げていただき、主催者の熊本市、また熊本県のご支援のたまものだと思います。

若手中心に準備してきた緑化フェアが成功したのも、たくさんの日造協の皆様のご指導のおかげです。本当にありがとうございました。私も老年ではありますが、3回目が熊本で開催されるのも見たいと密かに願っています。



日造協は、全国安全週間にあたって、ポスターを作成、会員の皆様に支部を通じてお送りしています。ぜひ、ご活用ください。

学会の目・眼・芽 第124回

「名勝」に学ぶ風景のみかた

(公社)日本造園学会理事

日本造園学会全国大会で、縁あって名勝に関するミニフォーラムの企画運営に関与するようになってから今年で4年目になる。

これまで個別具体的な歴史的庭園や景勝地に対し、名勝調査やその保全活用・整備計画に従事することはあったものの、総体として名勝という文化財を俯瞰的に捉え、その特質について考えるのは自分自身にとっても初めてのことであり、回を重ねるごとに新たな発見のある学びの場となっている。



名勝は、とりわけ「造園」と非常に関わりの深い文化財といえる。というのは、その指定件数の半数以上を庭園

奈良県立大学地域創造学部教授 井原 縁

が占める、という歴然たるつながりはもちろん、名勝という存在がもつ根源的な人と自然との関わり方、その精神性に大いに通じるものがあるからである。

名勝の価値評価においては、先述した庭園を含む人文的名勝であれ、海浜や渓谷、島嶼といった自然的名勝であれ、その対象となる風景に向けてきた／向ける人々の「思い」が重要となる。

それゆえに、記念物という同じ文化財類型に属する史跡や天然記念物とは異なり、その価値基準は極めて感性的で曖昧さが付随する。ここにこそ、ほかならぬ造園との共通性がある。



平成31年度に開催した名勝ミニ

フォーラムでは、「『国土美』をつなぐ」というテーマのもと、名勝の指定基準の冒頭に掲げられている、「国土美」という指定対象を包摂する概念に焦点を当てた議論を行った。

そのなかで、亀山章先生（日本自然保護協会理事長）が、「名勝に付随する曖昧さは、造園学という学問分野の本質的特性につながる」（1）「造園は『鑑賞と評価の対象になる美』と『造形と創出の対象になる美』の2つの美を同時に扱う分野である」（2）と発言されたことが今でも強く印象に残っている。



造園とは何か。社会的ニーズへの呼応から、その役割には様々な要素が上乗せされているが、根底にある最もシンプルな心性は、自然に働きかけながら、人々にとって美しい／心地よい／楽しい／理想的な場所を造り出すこと

であろう。とすれば、各地で人々が愛で、心を動かされてきた風景、あるいはその思いのもとに造形・創出してきた風景である名勝という存在は、まさに造園という営為の手掛かりとなる、貴重なテキストだといえる。



本年度6月の全国大会では、「橋梁と堰堤のある風景の審美性を考える－名勝の視座から」と題し、名勝の視座から、人々を惹きつけてきた／惹きつけている水と橋梁や堰堤の織り成す風景の美について考えるハイブリッド形式のミニフォーラムを予定している。関心のある方は、これからもこのような機会を通して、ぜひ名勝の魅力を共に学んで頂ければ幸いである。

(1) (2) 平成31年度日本造園学会全国大会報告ミニフォーラム、ランドスケープ研究83(3), pp.308



日造協は、第38回全国都市緑化くまもとフェアの開催に合わせ、4月25日に「第14回造園技術フォーラム」、26日に「総支部長・支部長合同会議」及び「令和4年花と緑のつどい」そして、27日に「全国都市緑化くまもとフェア視察」を実施した。

総支部長・支部長合同会議は、熊本市の「熊本ホテルキャッスル」で、15時から開催した。

冒頭、和田新也会長があいさつを行い、常日頃から、当協会の業務運営に多大なご尽力をいただいていることに対する感謝を申し上げたのち「前回は、新型コロナウイルスの感染拡大により、この総支部長・支部長会議は中止となつたが、今年は何とか対面での会議にこぎつけた。今後とも、対面での会議が開催できるよう願っている。当協会は昨年の11月で創立50年を迎えたところであるが、皆

さまからの長きにわたるご尽力、ご支援のお陰であり、御礼申し上げる。本日は、担い手の確保・育成に向けた建設キャリアアップシステムへの対応、資格制度のさらなる充実などについてご議論いただくことになるが、お集まりの皆様からの忌憚のないご意見をいただき、日造協活動の強化や円滑な展開を図っていきたいと考えている。」と述べた。

議事では、令和4年度事業の実施について●総務委員会関連①50周年事業支部活動費助成●技術委員会関連②「ロープ高所作業・フルハーネスに関わる特別

教育」の講師派遣③グリーンインフラの取組④「造園施工管理のポイント～造園施工に携わる技術者を対象とした人材育成研修～」の開催●事業委員会関連⑤希望提言活動に使用する「日造協の概要説明資料」⑥全国造園デザインコンクールの開催⑦冊子「造園のしごと インターンシップのススメ。」⑧「職長・安全衛生責任者教育」の講師派遣●資格制度委員会関連⑨「緑地樹木剪定士」資格制度の創設⑩2021年度の資格制度実施報告書⑪街路樹剪定ハンドブックの改訂●造園領域発展戦略委員会関連⑫日造協創立50周年事業⑬冊子「造園建設業の働き方改革のヒント・好事例（第2版）」⑭日造協入会説明会と入会案内⑮「出前講座」⑯冊子「これからを考えるロールモデル」●国際委員会関連、⑰国際委員会関連報告●技術・資格制度委員会共通関連⑱建設キャリアアップシステムへの対応、関係の年間スケジュール



水辺エリアの全国造園デザインコンクール「みどりの広場」プラン部門受賞作品を日造協熊本県支部の施工で具現化

●事務局⑯各種表彰の推薦基準⑰日造協の年間スケジュールなどについて、説明及び質疑応答をした。

会議はその後、総支部・支部からの報告等、意見交換した後に、2027年国際園芸博覧会について、博覧会協会の小林参与から説明を受けた。

最後に第39回全国都市緑化北海道フェアを紹介した後に閉会した。

なお、懇談会「花と緑のつどい」は、18時から開催。つどいは、地元の執行英利九州総支部長、吉村昌洋熊本県支部長をはじめ、多数の地元会員の準備により行われ、熊本県、熊本市、熊本フェア関係者など、来賓の方々も多数参加され、盛会となった。

翌日は、街なかエリア（熊本城公園及び花畠広場一帯）と水辺エリア（水前寺江津湖公園一帯）を観察し、全ての行程を終了した。



街なかエリアの道路を公園化したスペースを活用したニコライ・バーグマン監修の大花壇

令和4・5年度 総支部長及び支部長一覧

総支部	支部	氏名	社名・役職名
北海道	総支部	再 嘉屋 幸浩	(株)園建代表取締役
	北海道	再 四宮 繁	(株)四宮造園代表取締役社長
東北	総支部	新 古積 昇	古積造園土木(株)代表取締役
青森県	再 三浦 利吏	(有)三浦造園代表取締役	
岩手県	新 佐藤 康之	(株)仙北造園代表取締役	
宮城県	再 古積 昇	古積造園土木(株)代表取締役	
秋田県	新 正木 孝輝	エコシビル(株)代表取締役	
山形県	再 今野久仁正	(株)今野庭園代表取締役	
福島県	再 佐久間 洋	(株)磐梯園代表取締役	
関東・甲信	総支部	新 鈴木 義人	(株)柳島寿々喜園代表取締役社長
茨城県	再 水庭 博	(株)水庭農園代表取締役社長	
栃木県	再 増田 博一	(株)増田造園代表取締役社長	
群馬県	再 山田 忠雄	(株)山梅代表取締役会長	
埼玉県	再 森川 昌紀	東洋ランテック(株)代表取締役社長	
千葉県	再 伊藤 高広	(株)横芝緑化取締役営業部長	
東京都	新 成家 岳	(株)富士植木代表取締役	
神奈川県	再 田口 正典	(株)田口園芸代表取締役社長	
山梨県	再 依田 忠	山梨ガーデン(株)代表取締役社長	
長野県	再 山崎 信幸	(株)長遊園代表取締役社長	
北陸	総支部	新 近 陽一郎	(株)新潟造園土木代表取締役社長
新潟県	新 近 陽一郎	(株)新潟造園土木代表取締役社長	
富山県	再 久郷 憲治	(株)久郷一樹園代表取締役	
石川県	再 北 総一朗	北造園(株)代表取締役	
中部	総支部	再 中嶋 和敏	(株)中嶋造園土木代表取締役
岐阜県	再 中山 忠	イビデングリーンテック(株)取締役事業本部長	
静岡県	再 内山 晴芳	天龍造園建設(株)代表取締役社長	
愛知県	再 中嶋 和敏	(株)中嶋造園土木代表取締役	
三重県	再 水谷 春海	(株)水谷造園代表取締役	

社名・役職名

総支部	支部	氏名	社名・役職名
近畿	総支部	新 中島 祥之	花佐造園(株)社取締役会長
	福井県	再 南 雅儀	(有)南造園代表取締役
	滋賀県	再 上田 誠	(株)植木代表取締役
	京都府	再 高石 正弘	(株)高石造園土木代表取締役
	大阪府	新 奈須 正典	(株)奈須造園代表取締役
	兵庫県	再 入谷 芳郎	入谷緑化土木(株)代表取締役
	奈良県	再 今西 康彰	(株)郡山共同園芸代表取締役社長
	和歌山県	再 的場 盛州	(株)松風園専務取締役
中国	総支部	新 西谷 勝之	山陰緑化建設(株)代表取締役社長
	岡山県	再 小林 和義	(株)武田園代表取締役社長
	広島県	再 福島 慶一	(株)有斐園代表取締役社長
	鳥取県	再 西谷 勝之	山陰緑化建設(株)代表取締役社長
	島根県	再 持田 正樹	(株)もちだ園芸代表取締役社長
	山口県	再 多々良健司	(株)多々良造園代表取締役社長
四国	総支部	再 高須賀盛満	高須賀緑地建設(株)代表取締役
	徳島県	再 稲富 俊広	(有)稻富造園代表取締役
	香川県	再 藤田 秀樹	(株)藤田萬翠園代表取締役
	高知県	再 植田 誠司	(株)南国緑地建設代表取締役
	愛媛県	再 高須賀盛満	高須賀緑地建設(株)代表取締役
九州	総支部	再 執行 英利	(株)執行茂樹園代表取締役
	福岡県	再 内山 剛敏	内山緑地建設(株)代表取締役
	佐賀県	再 久保 和男	(株)葉隱緑化建設代表取締役会長
	長崎県	再 松田 英明	(株)松田久花園代表取締役
	熊本県	再 吉村 昌洋	(株)皆楽園代表取締役
	大分県	再 栗木 康一	(株)栗木精華園代表取締役
	宮崎県	再 下湯 一弘	大新造園(株)代表取締役
	鹿児島県	再 井上 恒治	井上総合緑化建設(株)代表取締役
沖縄	総支部	再 森根 清昭	(有)海邦造園代表取締役
	沖縄県	再 森根 清昭	(有)海邦造園代表取締役

第14回 造園技術フォーラム

熊本で6つの発表、特別講演など行う

第14回造園技術フォーラムは4月25日、熊本県熊本市の熊本城ホール会場とオンラインで開催しました。本号では発表の概要を紹介します。

※日造協会員の方は、会員専用サイトの「グループウェア」「共有フォルダ」「100-【技術情報・資料】」「02-（本部）造園技術フォーラム」で当日の資料をご覧いただけます。

関東・甲信総支部

豊洲ふ頭内公園の指定管理と設置管理許可の取り組み 室橋 智（株物林）

公園は江東区が“稼ぐ公園”を目指し、指定管理者制度を導入、設置管理許可制度も組み合わせ、ともに10年間で、さらに効果を上げる仕組みとなっている。

具体的には、収益施設使用料は免除、イベント等は指定管理者の収受（利用料金制）で、公園事務所は指定管理者が整備。最終的な利益の納入割合を民間の提案で区に納入するものになっている。

管理運営は、新たな公園の過ごし方を提唱し、快適な芝生づくり、種から育てる花の公園づくりとして、パークガーデナーを配置、ボランティアを育成するほか、バーベキュー場やレストランを開設、

沖縄総支部

沖縄の造園業界が取り組むDX化の動向 神谷 朝太（平成造園株）

沖縄県緑化種苗協同組合は県内の造園関連企業・緑化生産者70社で構成。資材の共同販売や指定管理などを行い、業務のDX化を推進。造園事業管理プラット

マルシェやスポーツ、音楽イベントを幅広く開催し、区内すべての公園のモデルとすべく、事業に取り組んでいる。

中国総支部

第37回全国都市緑化ひろしまフェアを振り返って 正本 大（みずえ緑地株）

ひろしまフェアは、コロナによりボランティアは募集せず、業者が一切を担い、工事ではなく業務発注で進められた。

広島市民球場跡地のメイン会場、4つ

九州総支部

熊本地震から6年が経ち

山隈 昌彦（伊勢造園建設株）

熊本地震復興支援造園研究体の代表として、復興支援の取り組みを紹介する。

研究体は造園9団体に所属する40代以下の技術者で構成。平成28年8月に蓑茂先生から、活動の動機づけとなるお

フォーム「Karahai」（沖縄の方言で羅針盤）として、在庫管理、街路樹管理、道路維持管理の3つのシステムを開発した。

在庫管理では、各社・各人が持っていた情報をクラウドで管理。樹種や数量、写真などを登録し、受発注と予約、納品

事例報告などが掲載されている。

しかし、投稿のハードルが高いとされ、施工分野など実務者からの投稿を増やしたり、Webなど媒体の多様化、頻繁な情報提供、情報の整理と検索の可能性を高めることが課題となっている。

こうしたことから、電子媒体での刊行、毎年複数回の投稿募集、記事のホームページ掲載、投稿や読んでいただくためのプロモーション、デジタル化による記事検索などを検討している。皆様の実践事例をぜひ、お寄せいただきたい。

今後のP-PFIで、地方創生、稼ぐ力、人口減対策を入れ、造園業の仕事をつくりたい。④40歳以下の方々の取り組みは、新たなリカレント、集まって勉強されるのはPBL（Project Based Learning）である。今後、高校生など会員より若い世代につなぐといい。⑤蓑茂先生がデータがあれば新しい知見が出てくると僕たちに教えてくれたが、データがあれば学会は知見を見つけられる。これからデータサイエンスがどんどん出てくる。この取り組みは沖縄の造園関係者の武器。次世代に繋げる、誇れるものだ。⑥技術報告は、記事検索などの話があつたが、データを共有・活用し、新しい技術連携、地域連携をつくろうということだ。皆さんと新しい連携をつくっていきたい。

東北総支部

『日本一の街路樹』の作り方

石出慎一郎（東洋緑化株）

青葉通り、広瀬通り、定禅寺通りは戦災復興路線で無電柱化が決まり、昭和25年から33年に植栽したが、その後の管理はぶつ切りなども多く、昭和60年頃より仙台市職員による直轄作業、樹冠拡大、樹姿重視の剪定へ変更し、平成7年頃に現在の基本樹形に整い、平成10年頃から剪定業務の発注となった。

平成11年に百年の杜づくり行動計画を策定。量の拡大を図ったが、平成17年の都市再生プロジェクトの頃から質に

の協賛会場など、県内一円で実施。既存の公園緑地やイベントと連携することで、予算も12億円に抑えた。

メイン会場は、柵を設けず、建設残土を利用した土手を花の環として修景。沿道の植栽もツツジ一辺倒から、宿根草を生かした花修景にするなど、市が掲げる

話をいただき、行動しながら考えよう、震災後で管理が行き届いていない公園緑地や農村で草刈りなどを行い、人のいる風景や美しい景観の大しさを実感した。

その後、災害復旧復興、文化財保護などの講義や各地で石積みの視察研修を重ね、熊本で何ができるかの議論を何度も行い、12月のシンポジウムで発表。さ

が可能。街路樹管理では、路線ごとの樹木の位置や土壤、植栽、方針、管理だけでなく、マラソンコースなどの利用状況なども登録。多様な情報を重ね合わせることで、情報共有や分析を可能とした。

SDGsについても、造園に関連する項

転換。平成22年に街路樹マニュアル、健全度調査。平成24年のみどりの基本計画で街路樹の重点管理が示され、昨年の改定で、街路樹マネジメント方針を打ち出し、管理目標などを業団体と作成中。

また、市と県が後援、県造協が講義と実技指導を行う「公園樹・街路樹剪定技能講習会」を40年以上継続し、技術の統一・伝承・競争、課題や安全対策の共有、関係者の交流に多大な効果がある。

「通り」を主体としたイベントは、仙台青葉祭りなど数百万人規模で、多くの人がかかわり、さらにマルシェや酒フェスなど、新たな取り組みも行っている。

「花と緑の街づくり」の実現に努めた。

会場跡地はP-PFIで整備されるが、どこまで造園がかかるか。フェアはイベントで終わらせず、街のみどりの再生、みどりで街を再生することにつなげることが重要。フェアをどのように考え、実践するかで未来の緑化が大きく変わる。

さらに石積みの研修などを続け、学び・考え・行動してきたことを踏まえ、平成29年に熊本博物館の石積、平成30年に県庁庭園石垣で復旧研修を実施。現在も知識の習得と技術の研鑽に努め、入会者も毎年増加し、取材も多数受け、造園の取り組みが認知されてきている。今後も造園力をフル活用して活動を継続していく。

目を抽出。具体的に業界が取り組むアクションプランとして、計画・設計・施工・管理の各段階での対応方針を設定した。

こうしたDX化が広がれば、感覚に依拠しがちな造園の良さの明確化と共有が可能で、さらなる発展につなげられる。

特別講演 造園の道を楽しく歩こう

蓑茂壽太郎（熊本県立大学名誉フェロー、東京農業大学名誉教授）

造園技術フォーラムは、造園技術共有発表会として2007年に始まり、翌年日造協と学会が包括協定を締結し、学会の発表と講評が行われるようになり、2011年からフェア開催地で実施するようになった。協定は私が学会長の時に調印し、今回は熊本が会場という縁で、特別講演の機会をいただいたと思っている。

そういうとても思い入れのある場で何を話そうかと考え、造園の道を歩み、楽しい思いを沢山してきたので、こうした楽しさを皆さんと分かち合いたい。

発表会や協定締結の流れは、技術的な気づきを共有するだけでなく、課題解決に向かう意欲や、経験（暗黙）知を形式知にすることが必要だと感じたからだと思う。今日の発表でも、共有にとどまつていながら形式知にする必要がある。

沖縄の発表はまさにその具体例で、皆さんには経験値をたくさんお持ちだが、経験値のままでは発注者や第三者に説明ができないから形式知にする必要がある。

しかし、日常業務で忙しい方々がそこまでやるのは難しいので、学の方で協力すれば、経験知を形式知にできる。経験知を形式知にするのは科学であり、その過程でいろいろな発見があり、発見は楽

しい。ぜひ、この楽しさも知って欲しい。

今日もフォーラムで一生懸命学んでいただくといろいろな発見があって楽しい。そして、このあとの交流会でおいしいものを食べたり飲んだりしながら、話をすると2倍楽しい。しかし、楽しいというだけではなく、そこには大義がなくてはならない。フォーラムの大義は、課題発見と課題解決であり、大義を捉えた事業展開が協会活動を持続可能にする。（課題発見、課題解決の事例紹介 省略）

これからは、分化し過ぎた職能の統合の時代で、技能と技術に加え、説得力を持つ技術者になることが求められる。

また、課題の解決は資産になる。公園は空き地でなく資産。学会の刊行物も資産化することで学術・業界の発展になる。

日造協は2021年に50周年、学会は2024年に100周年を迎える。節目に過去を振り返ることは重要だが、日造協は還暦、学会は大還暦くらい、それぞれ10年、20年くらい先のことを考えることも必要。そのためには、目標を持つ、他人の経験談に耳を傾ける、小さな成功体験を積む、さまざまな機会を活かすことが大事だ。今回のフォーラムなど、こうした機会を大切にして欲しい。

日本造園学会

造園技術報告集のこれまで、これから

村上 修一（理事、滋賀県立大学教授）

「技術報告集」は、学会誌「ランドスケープ研究」の増刊号で、2001年から隔年刊行され、造園技術に対する評価・論考、学術的価値の高い伝統的技術の記録、将来における技術の展望、海外技術の紹介、さらに価値のある有用な技術を対象とした造園における調査、計画、設計、施工、施工監理、運営管理、維持管理に関わる技術、造園建設に用いられる工法、資材、

講評 金岡 省吾（理事、熊本大学教授）

過去の講評を読み解くと、講評者の特徴と時代が映されていた。技術の講評はできないが、地方創生の切り口で、発表に何を加えるといいかを考えた。

①“稼ぐ公園”的取り組みが紹介されたが、公園が出生率・社会増を果たすなど、EBPM（Evidence Based Policy Making）につなげて強調するといい。②発表の冒頭はすべてデータに基づいたものでEBPMに活用でき、通りでのイベントは、稼ぐ力、子育ての要素もある。それらを織り込むと人口減少を歯止めする街路樹ということをいえると思う。③入場者や予算のデータがあり、公園や街路のリノベーション、ドローンを使った動画も良かった。気になったのは

わら繩／ジュート製品／むしろ／女竹
雪吊り・木の根巻きに使用する
造園・緑化資材をお届けします

わら繩工場・新潟県阿賀野市

SDGs
環境にやさしい
天然素材

ベトナム自社工場

JICA国際協力機構のプロジェクト※
に賛同してベトナムの自社工場で
女竹の加工・生産をしています
【※途上国の課題解決型ビジネス
(SDGsビジネス)調査2017~2021年】

https://www.usui-nouchikusan.com/

わら繩 ジュート こも(むしろ) 女竹

ECサイトオープンしました!

▶▶▶

QRコード

〒959-1944 新潟県阿賀野市金屋765番地

TEL: 0250-62-3926

白井農畜産HP

<https://www.usui-niigata.co.jp/>

E-mail: usui@usui-suibara.co.jp

(令和2年度第3次補正 事業再構築補助金により作成)

ふる
と
自慢
群馬県

市
の
花
は
「
バラ
」
ば
ら
園
と
周
辺
の
見
ど
こ
ろ
と
食
べ
物

前橋市といえば?と聞かれて「バラ」と答えるのは地元住民だけかもしれませんね。

実は前橋市は、市の花がバラなだけあってバラスポットがたくさんあります。

今回は、市民の憩いの場である『敷島公園門倉テクノばら園』とその周辺のお散歩コースをご紹介します!

◆このばら園では、前橋生まれのオリジナル種「あかぎの輝き」をはじめ国内外のバラを楽しむことができ、春と秋の開花時期には連日多くの人でぎわっています。

また、春には「ばら園まつり」秋には「秋のバラフェスタ」が開催され、花の苗や鉢植えを購入できるブースができたり夜にはライトアップされたりとさまざまな姿のバラを堪能できます。

◆ばら園をひと歩きしたら『ばら園前食堂』にあるバラソフト



私
と
お
茶
と
の
出
会
い

山塚
鳥取
県
緑化
建設
支
部

山陰地方は昔から家で抹茶を点てるおうちが多く、日常でも「お茶をどうぞ」と点てていただく習慣が残っています。家にも抹茶茶碗と茶筅がありました。

そんな環境で育った私に、当時のアイドル歌手だった山口百恵さんがドラマの中でお茶の点前をしている場面を見た母が「あなたも挑戦してみたら?」と言ったのが始まりだったように思います。

見よう見まねでやったものの泡が立たず、私はお薄を点てることができないことがわかりました。

◆お茶を習えば、教室に通うほど好きだった着物も着られるからという軽い気持ちで茶道教室にも通い始めました。

間もなく所属する会の青年部でさまざまな茶会のために自分たちで仮の茶室や庭を造ったり、竹藪に竹を取りに行って四ツ目垣なども作り、料理に着付と、みんなで一緒になってお茶に関することをつくり上げる喜びを味わいました。

◆この体験が今の私の大きな糧となっています。

以来45年が経ち、現在は裏千家淡交会米



あかぎの輝き



ばら園は入場無料です



小石神社



ばら販売ブース



バラソフトクリーム㊂、ばらパフェ㊂



お稽古の様子

子支部の幹事を務めさせていただきながら自宅やカルチャーセンターで教える立場となりました。

お茶の稽古は私の生活のリズムとなり、悩んだ時や疲れた時、落ち込んだ時などもお稽古に行って先生とお弟子さんとお話をしながらおいしいお抹茶とお菓子をいただくと、すっと気持ちが落ち着いて心地よくなります。

お稽古場に入る時、扇子を膝前に置き障子を開ける時の緊張感、先生にご挨拶をしてお点前を見ていただく45分間はお茶のことだけに集中する時間となります。

今後は指導者としての研さんをさらに積んで、お茶の楽しさを一人でも多くの方に伝えられたらと思っています。

草刈りの飛び石を抑制



回転ハサミ式なので
シャープな切れ味



Super カルマー

●国土交通省 NETIS 過去登録製品
●「日本建設機械施工大賞」受賞製品

お手持の刈払機に取付
IDECH 刈払機アタッチメント

【造園用フルハーネス型墜落制止用器具の販売】

★日造協では、技術委員会安全部会を中心に労働安全衛生規則の改正に伴い造園作業に適したフルハーネス型墜落制止用器具を開発などを進めてきました。

この度、日造協安全部会の群馬庚申園(株)様から「造園用フルハーネス型墜落制止用器具」を会員の皆様へ特別価格で提供とのご案内がありました。

ご希望の方は URL (<http://shop.kousinen.com/>) よりお申し込みください。

編集後記 梅雨の季節を迎える。週末の降水確率50%って勘弁して欲しい。どっちなのでしょうか?せめて40%か60%で予報出来ませんか。草野球の試合があるのです。3年ぶりに書面表決ではなく通常総会が開催される。6月21日、晴れますように。

雑草を削って粉碎

フリーハンマー式なので
刈草を減容できる



うね草取りまー^{PRO}

2022年6月新発売!

アイデック公式ホームページ

<http://www.idech.co.jp>



アイデック公式 Facebook



最新情報や動画をご覧いただけます